

審査員からのコメント

ブッククロッシング～本に二度目の人生を～

本作品は、高校生にとって身近な読書数の減少という課題に着目し、地域に根付いた独自の図書館を目指した取り組みである。ブッククロッシングという不要になった本を交換する仕組みについては、他地域でも見られるが、地域の商店街の買い物客に本の交換チケットを配布するというアイデアはユニークである。また、ブッククロッシングの取り組みだけでは、本に関心のない人の参加が見込めず、読書数の減少という課題に向けたアプローチとして弱い。交換チケットというシステムを導入したことで、今後の展開可能性について期待できる。改善点として示されていたが、交換チケットのみで実施すると、交換用の本の準備数に問題が生じる。たとえば、商店街で買い物をしなかった人には、自身の本を持参すれば図書館内の本と交換できるようにしておく等、参加方法について複数パターンを用意しておく、利用者の可能性が広がる。ブッククロッシングという活動と他の何かを組み合わせることで、地域課題を解決する新しい手法になり得る可能性があることを示した点について評価したい。

